

令和2年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
魅力ある観光資源の開発と整備	宿泊、体験型観光の推進		1 体験型観光企画調整事業

事務事業名		体験型観光企画調整事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 宿泊、体験型観光の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～	年度	根拠法令 条例等	なし				
						実施方法		直営		
						事業分類		その他市民に対する事業		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
体験型観光を展開している施設管理者が、関連する情報を収集・共有して、施設間の連携を推進するため企画調整会議を開催し、個々のメニューの見直し、磨き上げ、新企画を行う。		体験メニューを持つ「あきやま学寮」「根古屋森林公園」「蓬山ログビレッジ」の3施設の指定管理者と連絡を取り合い、各施設の現状や問題点を把握、共有し、更なる連携の強化を図った。					
活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (見込)
会議開催回数		回	1	0	0	1	1
各施設との協議回数		回	20	22	25	24	24

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

体験型観光メニュー		対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (見込)
体験メニュー数		個		36	36	34	34	36

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		体験メニューを魅力ある状態に保つ。		成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (目標)
		体験型宿泊施設の利用者数		人		33,724	30,336	27,545	9,547	34,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

国内に居住する人に対して、宿泊施設及び体験メニューの整備により、数多くの人に利用してもらう。		上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (目標)
		体験型宿泊施設の宿泊棟利用者数	人	10,098	9,182	8,295	2,348	14,100
		体験メニュー数	個	36	36	34	34	36

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
人件	人	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60	60	60	60		
人件費計(B)	千円	229	229	229	229	218	218	218	218	218		
トータルコスト(A)+(B)	千円	229	229	229	229	218	218	218	218	218		